

2. ごみゼロ社会実現プラン策定の取組

ごみゼロ社会実現プラン策定の取組

●プラン策定委員会

「ごみゼロ社会」の実現に向けて、その具体的な将来像と道筋を明らかにする「ごみゼロ社会実現プラン」を策定するため、ごみゼロ社会実現プラン策定委員会を設置しました。

プラン策定委員会は、県民、事業者、NPO、行政それぞれの部門における組織の代表者で構成される組織で、プランの最終決定を行う機関です。

ごみゼロ社会実現プランは全県的な取組であり、施策の実施に当たっては、県民、事業者、行政が協働して進めていく必要があります。

そのためプラン策定委員会には、実際にプランを推進していただく組織の方に策定の段階から参加していただき、十分な検討・理解を得たうえでプランの推進役を担っていただくこととしました。

<開催経過>

回数	開催日	議 事
第1回	平成16年 7月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ社会実現プラン策定委員会の設置について 委員長・副委員長の選出 ごみ処理の現状と課題について ごみゼロ社会実現に向けた基本方針について プラン策定にあたっての基本的な考え方について
第2回	平成16年12月 4日	<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ社会実現プラン策定の取組状況について ごみゼロ社会実現プラン中間案（素案）について
第3回	平成17年 1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ社会実現プラン策定の取組状況について ごみゼロ社会実現プラン中間案（案）について
第4回	平成17年 3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ社会実現プラン策定の取組状況等について ごみゼロ社会実現プラン最終案について ごみゼロ推進フォーラムについて

●アドバイザー会議

「ごみゼロ社会実現プラン」の策定にあたり、専門的、技術的な観点からの意見や消費者、生産者の視点を反映させるとともに、国内外の自治体や民間の創意工夫を取り入れるため、ごみゼロ社会実現プラン策定アドバイザー会議を設置しました。

アドバイザー会議は、実際にごみ減量化に取り組んでいる有識者、NPO、事業者のみなさんや市町村の廃棄物担当者で構成される組織で、プランの策定に関して、専門的、技術的な知見、実践活動における経験や実績などに基づく個別具体的な調査検討を行い、プラン策定委員会に提言、助言を行う機関です。

<開催経過>

回数	開催日	議 事
第1回	平成16年 7月16日	<ul style="list-style-type: none"> プラン策定の進め方等の確認 三重県のごみ処理の現状等について 目標設定について 当面のスケジュールについて
第2回	平成16年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> 現状と課題等に関する調査について ごみゼロ社会実現プラン中間案について 今後のスケジュール等について
第3回	平成17年 1月 7日	<ul style="list-style-type: none"> 実態調査の結果等について ごみゼロプランに関する意見集約の状況について ごみゼロ社会実現プラン中間案（案）について 今後のスケジュール等について
第4回	平成17年 2月23日	<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ社会実現プラン最終案（案）について 基本取組の評価と短期・中期の目標設定について 地域別の取組方向について パブリックコメント等について 今後のスケジュール等について

●アドバイザー会議 【課題別グループ会議】

アドバイザー会議を「発生・排出抑制G」「再資源化G」「環境教育・県民参画G」の3つの課題別グループに分け、より具体的な検討を行いました。

○発生・排出抑制グループ

<開催経過>

回数	開催日	議 事
第1回	平成16年 8月30日	・プランの目標設定について ・グループの課題に関する取組の方向と今後の検討課題について
第2回	平成16年10月 4日	・ごみゼロプランの位置づけ等について ・グループの課題に関する取組の方向と今後の検討課題について

○再資源化グループ

<開催経過>

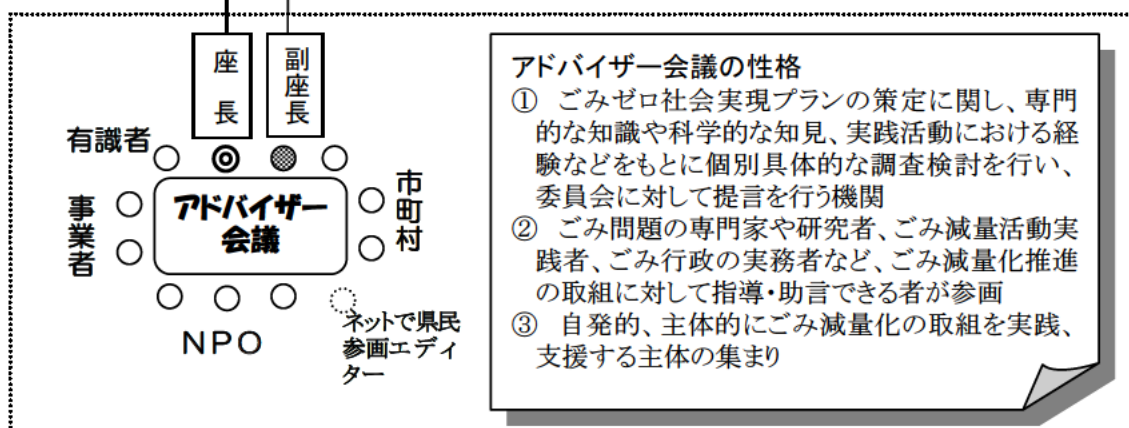
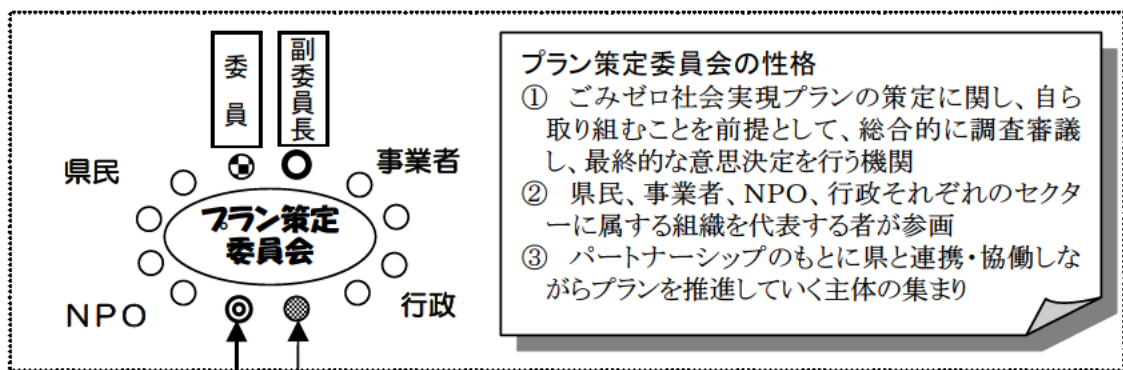
回数	開催日	議 事
第1回	平成16年 8月23日	・プランの目標設定について ・グループの課題に関する取組の方向と今後
第2回	平成16年10月 1日	・ごみゼロプランの位置づけ等について ・グループの課題に関する取組の方向と今後の検討課題について

○環境教育・県民参画グループ

<開催経過>

回数	開催日	議 事
第1回	平成16年 8月25日	・プランの目標設定について ・グループの課題に関する取組の方向と今後の検討課題について
第2回	平成16年10月 8日	・ごみゼロプランの位置づけ等について ・今までの取組のまとめとその取り扱いについて ・各グループの課題に関する取組の方向と今後の検討課題について

策定委員会とアドバイザー会議の構成や性格の違いについて、概ね以下のとおりです。



●行政連絡会議 県民局単位で実施 (7地域)

行政連絡会議は、県と市町村がプランの策定に関し、タイムリーな情報提供や意見交換を行うなど、意志の疎通を図るため、県と市町村の関係職員で構成する行政連絡会議を開催しました。

<開催経過>

第1回	【各県民局共通議事】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針、事業体系、スケジュール等の概要説明 ・策定委員会等の構成、政策研修会、ごみゼロ談義等への参加要請 ・各種実態調査への協力依頼 		
	県民局	開催日	参加者数
	北勢	平成16年 5月28日	市町村職員 25名
	津	平成16年 5月27日	〃 15名
	松阪	平成16年 5月24日	〃 10名
	南勢志摩	平成16年 5月20日	〃 16名
	伊賀	平成16年 5月25日	〃 7名
	紀北	平成16年 5月24日	〃 6名
紀南	平成16年 6月 3日	〃 6名	
第2回	【各県民局共通議事】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ社会実現プラン策定の取組状況について ・ごみゼロ社会実現プラン中間案(素案)について ・第1回行政連絡会議の意見まとめについて 		
	県民局	開催日	参加者数
	北勢	平成16年11月26日	市町村職員 11名
	津	平成16年11月24日	〃 9名
	松阪	平成16年12月15日	〃 10名
	南勢志摩	平成16年12月24日	〃 3名
	伊賀	平成16年11月30日	〃 7名
	紀北	平成16年12月 1日	〃 4名
紀南	平成16年12月 1日	〃 7名	

●プラン中間案市町村説明会 県内3地域で実施

市町村に対して、プラン中間案の説明を行うとともに、意見交換を実施しました。

【各回共通議事】

- ・ごみゼロ社会実現プラン中間案について
- ・今後のスケジュールについて
パブリックコメント、プラン策定委員会、アドバイザー会議、ごみゼロ推進フォーラム
- ・平成17年度事業について
事業内容及び推進体制、モデル事業及び導入可能性調査等
- ・最近の国の動向について

<開催経過>

地域	開催日	参加者数
四日市会場	平成17年 2月 4日	市町村職員 18名
松阪会場	平成17年 2月 1日	〃 16名
尾鷲会場	平成17年 2月 7日	〃 10名

●**ごみゼロ政策研修会**

市町村、県の関係職員を対象に、ごみ減量化に関する有識者や専門家を講師に招いて、これからのごみ政策のあり方や方向性についてワークショップ形式により学ぶごみゼロ政策研修会を開催しました。

<開催経過>

回数	開催日	概要
第1回	平成16年 7月23日	参加者数 県・市町村職員36名 テーマ:「ごみ問題への住民参加」 講師:名古屋大学院環境学研究科 広瀬幸雄教授 内容:基調講演及び参加者によるワークショップ 【ワークショップテーマ】 テーマ1「このままいったら20年後はどうなっているのか?」 テーマ2「私たちが考える20年後のあるべき姿とは?」 テーマ3「現状での問題や課題」
第2回	平成16年 8月31日	参加者数 県・市町村職員41名 テーマ:「ごみ減量化施策の先進地から学ぶ」 【生ごみの堆肥化施策】 講師:滋賀県水口町環境課係長 幡野啓二 氏 【家庭ごみの有料化施策】 講師:東京都日野市環境共生部 ごみゼロ推進課長 小林寿美子 氏 コーディネーター 名古屋大学院環境学研究科教授 広瀬幸雄 氏 内容:基調講演及び参加者によるワークショップ 【ワークショップテーマ】 テーマ1「あるべき姿の実現のためにはどういった対策(取組)が必要か?」 テーマ2「そのためには何を解決すべきか、何が必要か、何が障害か?」
第3回	平成16年12月 2日	参加者数 県・市町村職員29名 テーマ:「ごみ問題への住民参加」 内容:基調講演及び参加者によるワークショップ コーディネーター 名古屋大学院環境学研究科 環境政策論講座教授 広瀬幸雄 氏 【市民参画によるプランづくり】 講師:愛知県津島市生活環境課 浅井直樹 氏 【ごみゼロ社会実現プラン中間案(素案)について】 説明:環境森林部 ごみゼロ推進室 【ワークショップテーマ】 テーマ1「家庭ごみの有料化施策」(A班) テーマ2「事業系ごみの減量化施策」(B班) テーマ3「リユースの促進(デポジット制度、リターナブル容器使用のシステムなど)」(C班) テーマ4「分別ルールの統一」(D班)

●**事業者意見交換会**

製造業、総合小売業、飲食業、銀行業など県内の多様な業種の事業者に対して、ごみゼロ社会実現プラン中間案の説明を行うとともに、意見交換を行いました。

<開催経過>

開催日	議 事
平成16年 3月 1日	参加者数 県内企業・団体8名 ・ごみゼロ社会実現プラン中間案について ・事業者アンケート調査の結果について

●**ごみゼロ談義** 県民局単位で実施 (7地域)

【趣旨】

ごみの発生・排出抑制や再資源化について、広く県民や事業者の意見を収集し、ごみゼロ社会実現プランの策定及び推進の参考とするため、7県民局ごとにごみゼロ談義を実施しました。

【内容】

地域住民やNPOのスタッフ、企業人など、さまざまな立場で積極的にごみ減量化の取り組んでいる方々に、「ごみに関して抱えている問題や取組の現状」「ごみ減量化のための具体的な方策」「県民、事業者、行政の役割分担」などについて、自由で率直な意見交換を行ってもらい、ごみゼロ社会実現に向けた議論を深めていただきました。

<開催経過>

第1回	【各県民局共通議事】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ社会実現プログラム、基本方針の説明 ・三重県のごみ処理の現状について ・ごみ減量化取組の意見交換 		
	県民局	開催日	参加者数
	北勢	平成16年 8月 3日	県民・市町村職員 15名
	津	平成16年 7月 7日	〃 12名
	松阪	平成16年 7月13日	〃 12名
	南勢志摩	平成16年 6月13日	〃 25名
	伊賀	平成16年 8月 2日	〃 15名
	紀北	平成16年 6月29日	〃 13名
紀南	平成16年 7月 9日	〃 8名	
第2回	【各県民局共通議事】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ社会実現プラン策定の取組状況について ・ごみゼロ社会実現プラン中間案(素案)について ・第1回ごみゼロ談義の意見まとめについて ・上記を踏まえた意見交換 		
	県民局	開催日	参加者数
	北勢	平成16年11月26日	県民・市町村職員 6名
	津	平成16年12月 8日	〃 6名
	松阪	平成16年12月15日	〃 13名
	南勢志摩	平成16年12月10日	〃 16名
	伊賀	平成16年11月29日	〃 14名
	紀北	平成16年12月 8日	〃 10名
紀南	平成16年12月 1日	〃 9名	

●**ごみゼロワークショップ** 県民局単位で実施 (7地域)

【趣旨】

「ごみゼロ社会実現に向けた啓発、気運の醸成及び意見等の収集」「ごみゼロ社会実現プランの策定及び推進に対する理解の促進」などを図るため、ごみの発生・排出抑制や再資源化に係る地域での取組について、県民が交流しながら楽しく学ぶごみゼロワークショップを開催しました。

【内容】

ごみ問題に関心のある県民を対象に、「ごみの排出、処理の状況や行政の施策等に関する説明」「ごみゼロに関する有識者の講演」「ごみの収集や処分に係る現場体験」「グループ別ワーキング」などを実施しました。

<開催経過>

次ページのとおり

<開催結果>		
県民局	開催日	概要
北勢	平成17年 2月 2日	参加者数 県民17名 <ul style="list-style-type: none"> ・クルクル工房の概要説明 ・クルクル工房視察 ・ごみゼロ社会実現プラン策定状況、プラン中間案の説明 ・グループ別ワーキング 【ワークショップテーマ】 「ごみゼロ社会を実現するためには何が必要か？」 「自分自身では何ができるか、何をやってみたいか？」
津	平成17年 2月22日	参加者数 県民13名 <ul style="list-style-type: none"> ・エコクッキング ・ごみゼロ社会実現プラン策定状況、プラン中間案の説明 ・グループ別ワーキング 【ワークショップテーマ】 「20年後こんな社会にしたいな！」
南勢志摩 ・ 松阪 (合同開催)	平成17年 2月22日	参加者数 県民・市町村職員36名 <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 【ゼロ・ウェイストへの取組】 講師:徳島県上勝町まちづくり推進課 松岡夏子 氏 ・講師との意見交換会 ・リフレッシュタイム 「童謡・唱歌を歌おう」 アコーディオン演奏 小山充 氏 ・ごみゼロ社会実現プラン策定状況、プラン中間案の説明 ・グループ別ワーキング 【ワークショップテーマ】 「ごみゼロ社会を実現するためには何が必要か？」 「自分自身では何ができるか、何をやってみたいか？」
伊賀	平成17年 2月 1日	参加者数 県民21名 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ社会実現プラン策定状況、プラン中間案の説明 ・いろいろな「生ごみ堆肥化の方法」の説明 伊賀環境問題研究会 ・グループ別ワーキング 【ワークショップテーマ】 「生ごみ減量化について」 (1) ごみの堆肥化を始めたきっかけは？ (2) 実際に行ってみて、「良かった点」「悪かった点」について (3) 生ごみ堆肥化の感想
紀北	平成17年 2月19日	参加者数 県民・市町村職員19名 <ul style="list-style-type: none"> ・海山町リサイクルセンター視察 RDF施設、リサイクルプラザ ・ごみゼロ社会実現プラン策定状況、プラン中間案の説明 ・グループ別ワーキング 【ワークショップテーマ】 「ごみゼロ社会を実現するためには何が必要か？」 「自分自身では何ができるか、何をやってみたいか？」
紀南	平成17年 1月23日	参加者数 県民12名 <ul style="list-style-type: none"> ・熊野市のごみ処理の現状について ・有馬不燃物処理場視察 生ごみ堆肥化施設、廃食用油リサイクル ・ごみゼロ社会実現プラン策定状況、プラン中間案の説明 ・グループ別ワーキング 【ワークショップテーマ】 「ごみゼロ社会を実現するためには何が必要か？」 「自分自身では何ができるか、何をやってみたいか？」

●庁内連絡会議

庁内関係各室に対し、ごみ減量化施策の具体例などごみゼロ社会実現プラン中間案（素案）の内容を周知するとともに、推進段階での事業実施における協力依頼を行いました。

<開催経過>

開催日	議 事
平成16年12月 3日	参加者数 20名 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロ社会実現プラン策定の取組状況について ・ごみゼロ社会実現プラン中間案（素案）について ・ごみ減量化施策の具体例について

●一般廃棄物実態調査（家庭系ごみ組成分析）

【調査目的】

地域特性や住居特性に着目して抽出した6市町村の集積所に出された家庭系ごみについて、その組成を調査し、ごみ質や分別状況を詳細に把握することにより、発生抑制、再使用、再生利用の推進などによるごみ減量化の可能性を探るため実施しました。

【調査実施市町村】

尾鷲市、阿児町、菰野町、津市、名張市、伊勢市

【実施時期】

平成16年9月～10月

●県民アンケート調査

【調査目的】

ごみゼロ社会実現プラン策定の基礎資料として、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿やその実現に向けた具体的な施策に関する県民の考え方を把握するため実施しました。

【調査対象】

地域特性などを考慮して選んだ県内15市町村から500名ずつ、合計7,500名を無作為抽出

【実施時期】

平成16年9月～

●事業者アンケート調査

【調査目的】

ごみゼロ社会実現プラン策定の基礎資料として、将来あるべき「ごみゼロ社会」の姿やその実現に向けた具体的な施策に関する事業者の考え方を把握するため実施しました。

【調査対象】

業種などを考慮して2,550事業所を無作為抽出

【実施時期】

平成16年11月～

●市町村ごみ処理状況調査

【調査目的】

ごみゼロ社会実現プラン策定の基礎資料として、市町村のごみ減量化に係る施策や考え方について詳細に把握するため実施しました。

【調査対象】

県内66市町村（11広域清掃組合へ協力依頼）

【実施時期】

平成16年10月～

●ごみ減量化手法導入可能性調査

【調査目的】

国内外のごみ減量化の取組に関し、その具体的な内容や効果、三重県内各地域での導入に向けた方向性や課題などについて調査を行い、その基礎データをプラン策定委員会等に提供することで、ごみゼロ社会実現のためのより実効性の高い施策の構築を図るため実施しました。

【実施時期】

平成16年6月～

●先進事例調査

【調査目的】

国内のごみ減量化取組の先進事例を調査することで、プラン策定の基礎資料とするとともに、プラン推進の取組の参考とするため実施しました。

- ・ 10 / 12 ~ 13 富山県富山市環境部環境政策課、富山市エコタウン
いしかわ環境パートナーシップ県民会議
- ・ 10 / 13 ~ 14 北海道旭川市環境部リサイクル推進課
北海道砂川市 クリーンプラザくるくる、北海道中空知 リサイクリーン
- ・ 10 / 21 滋賀県甲賀市（旧水口町） 生ごみ堆肥化施設
京都府京都市 バイオガス化施設
- ・ 10 / 26 ~ 27 神奈川県横須賀市、横須賀市 リサイクルプラザアイクル
神奈川県鎌倉市、笛田リサイクルセンター
- ・ 11 / 16 東京都日野市
「ごみゼロ社会の実現に向けて」のテーマで三重県知事と東京都日野市長との対談を行いました。

●ごみゼロ推進フォーラム

ごみゼロ社会実現プランを、あらゆる主体が共有し、県内外に向けて強くアピールすることにより、気運の醸成や志気の高揚を図るとともに、一人ひとりの意識や価値観、ライフスタイル転換のきっかけづくりとするため開催しました。

<日時・場所> 平成17年3月30日（水）14:00~17:00
アスト津4F アストホール

<プログラム>

- ・ ごみゼロ宣言
- ・ 基調講演
【今日から素敵なおみ仲間】
講師：富士常葉大学助教授 生活環境評論家 松田美夜子 氏
- ・ パネルディスカッション
【みんなで創る 未来のごみゼロ社会】
コーディネーター：財団法人三重県文化振興事業団理事長 武村泰男 氏
パネリスト：特定非営利活動法人 輪リサイクル思考理事 新海洋子 氏
戸田家代表取締役 寺田直喜 氏
名古屋大学院教授 広瀬幸雄 氏
伊勢市長（三重県市町村清掃協議会会長） 加藤光徳 氏
三重県知事 野呂昭彦
- ・ ごみゼロ推進に関するパネル展示

●パブリックコメント

プラン中間案に対する県民の意見・提案を募集しました。（延べ意見 30件）
意見募集期間：平成17年1月26日~平成17年2月14日

●プラン中間案市町村等意見照会

県内市町村、一部事務組合及び広域連合を対象に、プラン中間案に対する意見照会を行い、プラン策定に向けた意見調整を行いました。（延べ意見 38件）

●プラン中間案庁内意見照会

庁内関係各室を対象に、プラン中間案に対する意見照会を行い、プラン策定に向けた意見調整を行いました。（延べ意見 99件）

●ごみゼロホームページ

ごみゼロ社会に対する県民等の理解を深めるとともに、環境先進県の取組として広く全国に情報発信を行うため、ごみゼロ社会実現プラン策定の取組状況等をホームページに掲載し、情報提供しました。

HP開設：平成16年7月27日